

(3) 中学3年 ～課題研究(シンカゼミ)～

①シンカゼミ(課題研究)

- a 目的 課題研究や発表の手法を学び、高校でのSGH活動への意識を高める。
  - b 日時 通年、総合的な学習の時間(週2時間)
  - c 対象 中3全生徒
  - d 内容
    - ア 3つの分野(「環境・郷土」「伝統文化・国際理解」「職業・産業・福祉」)の中から自ら課題を設定し、グループを決める。
    - イ グループごとに調査、研究を進める。必要に応じて実験や調査、校外でのフィールドワークを行う。
    - ウ パソコン室、図書室、タブレットなどを適宜使用する。
    - エ 分野ごとの発表会を実施し、複数の教員による審査・投票により、代表班を各分野から1班選出する。代表班は、高校開催の海外G課題研究発表コンテストで発表する。
- ※今年度は、分野ごとの発表会を2月3日(月)、海外G課題研究発表コンテストを2月26日(水)に実施。

<主な研究テーマ>

分野	主な研究テーマ
A 環境・郷土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種による在来種の浸食</li> <li>・水質による環境の変化</li> <li>・光害の現状把握と抑制</li> <li>・地域の暑さ対策</li> <li>・河口の汚れから生き物を守るためには</li> </ul>
B 国際理解・伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野市の情報化の推進とGLOBAL CITY SANO</li> <li>・日本の伝統文化を外国人に伝える</li> <li>・外国人観光客を増やそう計画</li> </ul>
C 職業・産業・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の参加しやすい地域イベントの研究</li> <li>・伝統産業で佐野のPR</li> <li>・子どもの存在が広げる輪</li> <li>・人々をつなぐボランティア活動</li> </ul>

- e 成果
  - ・身近な事柄に対する問題意識を持ち、主体的に問題解決の手立てを考えたり行動したりすることができた。
  - ・プレゼンテーションソフトを用いて効果的な発表の仕方を工夫し、聞き手を意識したプレゼンテーションの力が身に付いた。
  - ・高校のSGH活動への関心や期待が高まり、良い動機付けとなった。

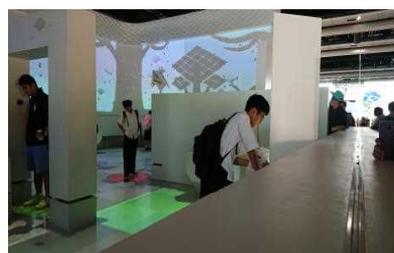
【東京FW】



<JICA 地球広場>



<日本科学未来館>



<シンカゼミ中間発表>



<シンカゼミ発表会>



<海外G課題研究発表コンテスト>

### ③平和学習

- a 目的 世界で唯一原爆を投下された国として、その歴史を正しく理解し、平和の大切さを再認識する。
- b 日時 令和元(2019)年10月15日 (火)
- c 場所 旭城ホール
- d 対象 中3全生徒
- e 内容 国立広島原爆死没者追悼平和記念館にて日頃から被爆体験伝承者として活躍されている講師の濱田千恵様から、原爆投下時の広島の様子や被爆された方々の体験談を拝聴する。
- f 成果 原爆投下直後の広島の様子を聞くことにより、その悲惨な歴史を体感し、平和の大切さについて深く理解することができた。

〈濱田様による平和講話〉

〈平和祈念公園での碑巡り〉



### ④修学旅行

- a 目的 グローバル社会の中で、日本文化の素晴らしさや平和を希求する精神を再認識し、伝えることの大切さを学ぶ。
- b 日時 令和元(2019)年11月4日 (月)～7日 (木)
- c 場所 関西方面 (広島・奈良・京都)
- d 対象 中3全生徒
- e 内容
  - ・広島平和記念公園見学・平和記念式典
  - ・コース別奈良研修
  - ・京都班別研修・外国旅行者への英語インタビュー実施
  - ・京都クラス別研修
  - ・英語インタビューレポート・修学旅行記の作成
- f 成果
  - ・日頃学んでいる英語を実際に使って外国の方にインタビューをすることにより、コミュニケーションツールとしての英語学習に対する意欲をさらに高めることができた。
  - ・修学旅行記を作成し展示することで、修学旅行で自分が学んだことを保護者や同級生に伝えることができた。

〈平和祈念式典の様子〉



〈千羽鶴奉納〉



〈英語でインタビュー〉

〈英語インタビューレポート〉

